

かみのかわ

議会だより



Kaminokawa



第53回消防操法大会【町村合併60周年記念】(富士山公園グラウンド)

No. 158

平成27年8月1日

◆編集発行◆

上三川町議会広報調査特別委員会

〒329-0696

栃木県河内郡

上三川町しらさぎ一丁目1番地

TEL 0285 (56) 9161

◆ 今月の内容 ◆

6月定例会議決事項 P2～P3

常任委員会審査結果報告 P3

ここが聞きたい一般質問 P4～P9

議会のしくみ、編集後記 P10

■6月定例会■

全議案を原案可決



定例会

平成27年第2回町議会定例会が6月2日から11日までの10日間の会期で開催されました。

(※採決に議長は加わりません。)

同意

◆ 議案第41号

固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

平成27年7月31日をもって退任される蓬田薫氏の後任として、高木康晴氏(大字多功)の選任に同意しました。

(採決結果 全員賛成)

諮問

◆ 議案第42号

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

平成27年9月30日をもって任期満了となる深谷和子氏(大字上三川)の再推薦を適任と決定しました。

(採決結果 全員賛成)

認定

◆ 議案第43号

町道路線の認定について

民間住宅団地の開発により、町に帰属された道路を町道とするものです。

(詳細 経済建設常任委員会報告)

(採決結果 賛成13 反対2)

承認

◆ 町長の専決処分事項の承認を求めることについて

上三川町税条例等の一部を改正する条例の制定に関する専決処分

地方税法等の一部改正に伴い、固定資産税の課税の特例の適用期限の延長、軽自動車税の二輪車にかかる税率変更の1年延期・四輪車等のグリーン化特例及び経過措置等を規定するものです。

(採決結果 全員賛成)

上三川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定に関する専決処分

地方税法等の一部改正に伴い、減額措置に係る軽減判定所得の算

定方法等を変更するものです。

(採決結果 全員賛成)

上三川町都市計画税条例の一部を改正する条例の制定に関する専決処分

地方税法等の一部改正に伴い、都市計画税の課税の特例の適用期限の延長・条項の整理及び経過措置等を規定するものです。

(採決結果 全員賛成)

報告

◆ 平成26年度上三川町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

平成26年度一般会計予算のうち繰越明許費として、平成26年度に完了しない次の事業の繰越について報告されたものです。

【地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業関連】

○ 地方版総合戦略策定事業

※ 地方版総合戦略・人口ビジョン策定委託等

501万円

○子育て環境整備事業

※上三川ふれあいの家ひまわり
放課後デイサービス備品購入等

201万円

○子育て環境整備事業

※子育て支援センター施設整備
等

618万8千円

○子育て環境整備事業

※親学出前講座・公民館講座・子
育て支援講座事業

52万円

○地域消費喚起事業

※プレミアム商品券発行事業等

2,300万円

○観光振興事業

※サンフラワー祭り事業等

683万円

○観光振興事業

※町指定文化財説明板製作

250万円

【その他】

○富士山地区市街地整備事業

1,048万円

○防災行政無線整備事業

173万5千円

○上三川小学校屋内運動場新築設
計事業

804万1千円

○経営体育成支援事業

※平成26年2月の降雪被害に伴
う農業施設再建支援等

1億2,651万6千円

請 願

◆ 請願第1号

道路敷設に関する請願

総務文教常任委員会の報告を参
考に採決を行った結果、不採択と
なりました。(詳細 総務文教常
任委員会報告)

(採決結果 賛成なし)

議員派遣

◆ 厚生常任委員会視察研修

【目的】 ・ 歯科口腔保健と生涯の健
康づくりについて

・ 健康づくりに向けた取り
組みについて

【期間】 7月9日・10日

【場所】 新潟県上越市
長野県上田市

常任委員会審査結果報告

本会議において付託された案件
について6月8日に委員会を開き、
所管課の説明を受け質疑を行い、
審査をしました。審査の内容・結
果は次のとおりです。

経済建設常任委員会

【付託案件】

(議案第43号)

町道路線の認定について

問 認定にあたり、路線の起点・
終点の決め方は。

答 道路法及び町の基準により決
めています。

問 町道認定にかかる幅員の規格
は。

答 現在の規格は、幅員4メート
ル以上です。

議案第43号は全員賛成により、
原案どおり可決しました。

総務文教常任委員会

【付託案件】

(請願第1号)

道路敷設に関する請願(かぶと塚古
墳保存に伴う道路等の環境整備につ
いて)

主な意見は次のとおりです。

① 文化遺産は、郷土に対する理
解、関心を高め、本町の歴史文化
を内外に発信する上で重要な役割
を担っており、これらを後世に継
承していくことは我々の責務であ
ることから、適切に保存・活用す
ることは、当然のことである。

② かぶと塚古墳石室周囲を取得
しその保護のために擁壁等を設置
した場合、道路の幅が狭まり地域
住民の通行の支障を来すことか
ら、石室周囲の用地を取得してま
で事業を進めることはできない旨
の教育委員会の決定に対し、至極
理解する。

(付帯意見)

現計画に基づき、関係者に対し
真摯な態度で臨み、早期の古墳保
存・活用事業着手に努力すること
を望む。

審査の結果、請願第1号は、賛
成少数で不採択としました。

一般質問日：平成27年6月3日

● つのだ しげいち 津野田 重一 議員

- ・中学生の生涯学習（事業の内容、ボランティア活動推進策）
- ・町有バス（過去5年間の運行状況、利用促進策）
- ・町税の滞納対策（滞納の状況、滞納解消に向けた対策）

● おいで けいいち 生出 慶一 議員

- ・活気あるまちづくり
（ボランティア組織の把握と窓口、町の歴史を活用した町のPR、合併60周年記念行事、地域活性化計画）
- ・空き家対策（調査状況、対策計画の検討）
- ・地方創生（受け止めと活かし方、地域振興施策）
- ・教育（特別支援教育、区域外就学の現状）

● かみむら やすゆき 上村 康幸 議員

- ・定住促進
（人口規模目標、住宅取得者への助成、子育て新婚家庭への住宅取得優遇措置・助成、定住促進策と計画策定）
- ・農業の有する多面的機能の発揮・促進に関する計画
- ・磯川緑地公園
（利便性・魅力向上、生態系保全ゾーンの分別、学校教育への活用）

● たむら みのる 田村 稔 議員

- ・町長の公約（具体的な計画のタイムスケジュール）
- ・町長の政治姿勢（2期目における政策、インフラ整備・目標）
- ・都市農業振興基本法（町の取り組み）
- ・小・中学校LGBT教育（町のLGBT教育への取り組み）
- ・ドローン（小型無人飛行機(ドローン)規制の考え）

● いなば ひろし 稲葉 弘 議員

- ・町長選挙の公約
（小中学校の教室へのエアコン設置、工業用地確保のスケジュールと財源）
- ・保育行政（おひさま保育園分園、低年齢児の保育入所）
- ・自衛官募集事務（事業内容、募集のための個人情報提出）
- ・マイナンバー制度（導入時期、内容）

ここが聞きたい
一般質問

7人の議員が登場

※一般質問の内容は、質問・答弁を広報調査特別委員会で要約したものを掲載しています。

一般質問日：平成27年6月4日

いしざき ゆきひろ
●石崎 幸寛 議員

- ・町長の2期目への抱負
- ・副町長就任の抱負
- ・ふるさと納税（町長の考え、町民の他市町村への寄附金の把握状況）
- ・骨髄移植ドナー支援（支援状況、ドナー及びドナーが従事する事業所への支援）
- ・学校でのSNS利用の実態（教師・生徒間でのSNSの活用状況）

かつやま しゅうすけ
●勝山 修輔 議員

- ・いきいきプラザの営業（レストランの設備目的と費用・経営方法見直し、指定管理者、自主事業委託契約）
- ・町長の公約
（公約の具体的説明、学校の防犯カメラ設置・芝生化、防災無線、「安心・安全の町」キャッチフレーズ）



議会を傍聴しませんか！

議会では、町の将来や皆さんの身近な問題、町の重要な施策が審議されます。ぜひ、議会の傍聴にお越しください。

◆手続きは簡単！

【受付】議会当日、役場4階議会事務局にて、住所・氏名などを傍聴人受付簿にご記入ください。傍聴券を先着順で交付いたします。

【定員】議場：一般席51人(内、補助席14人)、車いす用スペース2台、報道関係者席3人

◆次回は9月定例会を開会予定です。日程が決まり次第、広報かみのかわや町のホームページにてお知らせいたします。

<http://www.town.kaminokawa.tochigi.jp/>

▶問い合わせ先 上三川町議会事務局 電話56-9162

津野田 重一 議員



中学生の生涯学習

町の主要事業におけるボランティア活動の推進の考えは。

生涯学習課長 次代を担う中学生がボランティア活動を通じて多くの体験をして地域社会に参画することは、郷土愛を育むと共に、充実感や達成感が得られ、社会性と自立性の育成や人間形成に大きな成果があることから、積極的な推進に努めます。町民スポーツ祭では、運営スタッフとしてのボランティア活動の依頼を考えています。

町有バス

今後の利用促進策は

総務課長 関係法令を遵守するなかで、利用者の立場にたつて利便性の高い運行条件の研究に努めます。

町税の滞納対策

滞納解消に向けた対策は。

税務課長 最初に納税相談を行い、相談どおりに納付されない場合は財産調査を行い、さらに納付されないときには差し押さえをしています。年2回の特別滞納整理では、1回あたり約1週間の期間を設け、直接訪問による相談等を約800件行っています。預貯金、生命保険等の財産調査を昨年度837件実施し、動産等の差し押さえは、この2年間で4件でした。また、ふだん仕事などで来庁が難しい方々に対しては、毎月末の日曜日午前中に休日納税相談として窓口を設けており、平成25年度は来庁者数128件・納付額296万円、平成26年度は来庁者数151件・納付額678万円と年々増加していることから効果があるものと思われ

生出 慶一 議員



活気あるまちづくり

地域活性化に向けて企業誘致を含めた計画は。また働く場の確保の考えは。

企画課長 企業誘致のためには工業用地フレームを確保することが必要です。これは地域における雇用の場の創出はもとより、若い世代の町外流出の抑制、定住促進、また安定的な自主財源の確保という観点からも非常に有効な施策と考え、現在、策定中の第7次総合計画に位置づけし、実施時期・財源の確保について、調査研究を行います。

空き家対策について

空き家対策計画の考えは。

総務課長 各自治体では、適正

な管理が行なわれていない空き家に対して、法律や条例に基づき必要な助言・指導を行い、適正な管理を促すと共に、それぞれの地域の活性化等の観点から、地域資源として有効活用するなど、地域の実情に応じた対策を実施していますが、総合的に対応するための施策のさらなる充実が求められています。

本年5月から空き家等対策の推進に関する特別措置法が施行され、この法律に基づき、対策課題は行政の多分野にわたることから関係課で協議検討を行い、国・県の指導・助言を受けながら対応していく考えです。

地方創生

どのように受け止め、生かそうとしているのか。

町長 人口の動向・将来の推計並びに、人口変化が地域の将来に与える影響の分析等を行い、将来の方向と人口展望を示す人口ビジョンを本年10月をめどに策定します。

また、これを踏まえ、今後5年間の基本目標や具体的な施策をまとめた総合戦略を策定し、定住支援や新たな子育て支援などの施策を定め、安心・安全で活力ある魅力的なまちづくりを行います。

定住促進

問 町の目標とする人口規模は。

答 企画課長 人口動向分析等を行い、人口増加を加味した人口フレームを決定するよう、現在作業を進めています。

問 住宅を取得し、定住される方への助成の考え(新婚家庭、子育て家庭への優遇措置)は。

答 企画課長 総合計画並びに、現在策定中の総合戦略の施策として検討中のため、具体的な内容について、現段階では回答ができません。



かみむら
上村 康幸
議員

磯川緑地公園

問 回遊性の確保など、利便性・魅力の向上の考えは。

答 産業振興課長 河川流域の水辺空間を活用した公園で細長い形状となっており、回遊性を確保することは困難であるため、新たに木道を整備する考えはありません。

現在の自然環境を適切に維持保全することで魅力向上につなげたいと考えます。

問 学校理科教育における活用と施設整備の考えは。

答 産業振興課長 小学校3年生理科「身近な自然の観察」では、観察対象を学校での栽培植物や家庭などの身近な場所の野草としていることから、理科授業において磯川緑地公園は活用できないため整備は考えていません。

問 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画

問 町の取り組みは

答 産業振興課長 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律に基づく支援策を活用し、農業・農村の健全な発展につなげていく考えです。

町長の公約

問 短期・中期・長期計画等の具体的スケジュールは。

答 町長 2期目の公約は5分野10事業です。

- ① 「子育てしやすい町」
中学3年生までの医療費窓口払無料化は、4月より実施しました。小中学校普通教室エアコン設置は、第7次総合計画に計上して実施したいと考えます。
- ② 「健康で元気な町」
健康マイレージ事業は、7月から実施します。デマンド交通は10月より実証運行として1台増車し、来年4月からの本運行につなげていきます。
- ③ 「活力に満ちた産業の町」
農業と商業の連携を中期計画として研究・検討を行います。新たな工業用地フレームの確保



たむら
田村 稔
議員

は、第7次総合計画に位置づけ、調査・研究を行います。

④ 「安心安全な町」
河川水害対策は、田川内水被害軽減対策事業を本年度より着手します。住民票のコンビニ交付は来年3月の運用開始に向け準備を進めています。

⑤ 「共に創る協働・自立の町」
自主防災組織の設立予定自治会に職員の配置を考えています。財政適正化では、財政適正化計画に基づき健全財政に努めます。町政運営には、「責任ある改革・成長」を念頭に最大限の努力をします。

農業振興基本法

問 本町の取り組みは。

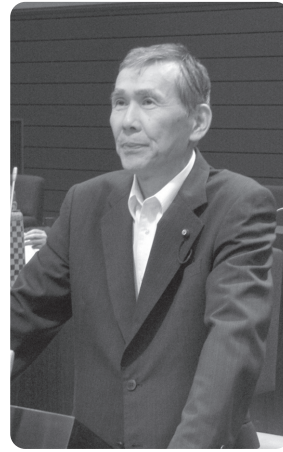
答 産業振興課長 国や県の動向を注視し適切に対応していきます。

小中学校LGBT教育

問 本町の取り組みは。

答 教育長 個人のプライバシーに関わることであり、学校生活においてきめ細かな配慮ができるよう努めていきます。

稲葉 弘 議員



保育行政

問 ふざかしおひさま保育園分園の耐震化・施設整備は。

答 福祉課長 待機児童解消のための緊急的措置として開所した施設であり、長期継続の利用は考えていないため耐震化の計画はありません。駐車場、遊具整備については、町単独委託費として助成しており、その中で対応可能であると考えます。

自衛官募集事務

問 事業の内容は。

答 総務課長 自衛官募集事務は自衛隊法・同法施行令で規定され、地方自治法・同法施行令並びに

自衛隊法施行令により、県や市町村が法定受託事務として事務を行っています。これにより、募集受付窓口の設置や様々な機会での広報啓発活動を実施しています。また、上三川町自衛隊父兄会とも連携し、関連事業を実施しています。

問

募集に当たっての個人情報提出は、住民基本台帳法違反にはならないのか。

答

総務課長 自衛隊法第29条第1項による事務であること、また、自衛隊法施行令の規定によることから、適法と考えます。

マイナンバー制度

問

制度導入時期とその内容、問題点は。

答

企画課長 本年10月に町民すべてに個人番号が記載された通知カードが送付され、希望者は来年1月からこれと引き換えに、ICチップが搭載された顔写真入りの個人番号カードの交付が受けられます。個人情報保護の対応として、町では特定個人情報保護評価書を作成し、特定個人情報保護委員会に報告する等、個人情報保護の徹底に努めます。

石崎 幸寛 議員



町長2期目への抱負

問 町をどのようにしていきたいと考えているのか。

答 町長 この4年間の町政運営においては、常に対話を重視した町政を基本姿勢としてきました。2期目も、対話重視の町政を堅持し、町民との双方向性を常に意識し、町民に寄り添った行政を目指します。

副町長就任への抱負

問 副町長就任への抱負は。

答 副町長 皆様のお力添えをいただき、総合計画の目標に向け、これまで以上に町の発展と住民の福祉の向上のためにがんばる決意で与えられた職務を遂行します。

ふるさと納税

問 方針など、どのように考えているのか。

答 町長 返礼品が豪華になり過ぎないよう配慮しつつ、制度本来の趣旨に沿った推進を図ります。返礼品として今後も町のPRにつながる特徴あるメニューを研究し、町の活性化に結びつく取り組みをしていきます。

骨髄移植ドナー支援

問 町の支援状況は。

答 健康課長 骨髄移植事業へのドナー登録推進、移植促進を図るため、啓発を実施しています。支援の実施については、他市町の現状をふまえて検討していきたいと思えます。また、登録推進のため、今後は町広報やホームページで町民に積極的に働きかけ、登録者増加に努めます。



いきいきプラザの営業

問 レストランの経営方法の見直しは。

答 健康課長 上三川町商工会の推薦を受けた商工会員が運営し、基本的な経営方法は経営者に委ねています。町は必要に応じて経営者と協議を行い、サービス向上に努めています。

町長の公約について

問 小中学校防犯カメラ設置や芝生化はどうなったのか。

答 町長 防犯カメラについては、破損事件等が多く発生している上三川小学校、上三川中学校に、防犯カメラ各4台、デジタルレコーダー各1台を設置しました。



かつやま
勝山
しゅうすけ
修輔
議員

その他の学校については、学校関係者の要望や意見を参考に整備を図りたいと思います。

芝生化については、芝刈り、雑草除去等の日常管理の課題解決が必要であり、早急な実施は困難であるとの意見を得ていますが、緑化推進・安全性の向上など、教育環境の整備上からも有効なものであるという考えは教育長と同一にしています。

今後、学校との意見調整に努めます。

問 防災行政無線はどうなったのか。

答 町長 災害が発生、予測される場合に、町民の生命、身体及び財産を守るため、災害情報・避難情報を伝達すると共に、被災情報の収集や応急活動を円滑にするため、防災行政無線を含めた、情報伝達体制の整備について調査・研究を行いました。

それをもとに、町ホームページ、かみたんメール、とちぎテレビデータ放送、緊急速報エリアメールを整備し、活用しています。

消防救急無線のデジタル化にあわせて消防行政無線設備実施計画を実施しており、デジタル化対応サイレン吹鳴装置整備工事を発注予定です。



一般質問中の言葉の解説

● 地方版総合戦略

地域活性化と人口減少対策のため、政府が2015年中に自治体へ策定を求めているもの。

● 第7次総合計画

平成28年度～平成37年度の10年間を計画期間として町の目標と、その目標を達成するための施策を体系的にまとめた計画。26年度より策定を進めている。

● LGBT教育

女性同性愛者(Lesbian)、男性同性愛者(Gay)、両性愛者(Bisexual)、性同一性障害を含む性別越境者(Transgender)などの性的少数者を理解し、受け入れ、尊重する社会をつくるための教育。

● SNS

Social Networking Service (ソーシャル ネットワーキング サービス)の略。インターネット上で人と人との交友関係を構築するサービス。

● マイナンバー制度

住民票を有する全ての人に1人1つの番号を付番して、社会保障・税・災害対策の分野で効率的に情報を管理し、行政の効率化、国民の利便性の向上、公平かつ公正な社会を実現するための制度。



議会議長・副議長研
修会に出席しました。

【日】

5月26日・27日

【会場】

東京都 中野サンプラザホール

【出席者】

稲見 敏夫議長

山本 辰夫副議長

1日目(26日)

帝京大学経済学部教授の内貴滋氏より「地方自治の母国に負けない我が国の町村議会」という題目で、英国の地方議会の紹介・これからの地方自治体及び議会の自主性の必要性などの講演がされました。シンポジウムでは全国から5町の議長がパネリストとなり「これからの町村議会を考える」を議題に意見が交わされました。

2日目(27日)

関西大学政策創造学部教授の白石真澄氏による「日本の健康の鍵は“農村・漁村”が握る」では地方の現状と町づくりとして産業を考えることの必要性などが話されました。次に読売新聞東京本社編集委員の青山彰久氏より「地方創生と政治・経済の展望」の演目で、政策への基本的視点を研修しました。

ぎ かい
議 会 の し く み ~ 未 来 の 有 権 者 へ

て い れ い か い り ん じ か い
定 例 会 と 臨 時 会

ぎ いん ぜんいんあつ はな あ じょうれい まち よさん まち かね つか かた き
議員が全員集まって話し合い、条例(町のきまり)や予算(町のお金の使い方)などを決め
ていく会議を本会議といます。

ほんかいぎ じょうれい ねんかん かいすう つき き ていれいかい ひつよう
本会議には、条例で1年間に開く回数と月が決まっている「定例会」と、必要なときにいつ
でも開くことができる「臨時会」があります。



ていれいかい
○定例会

ねん かい がつ がつ がつ がつ ほんかいぎ ひら き
年4回(3月、6月、9月、12月)に本会議を開くと決めています。

りんじかい
○臨時会

いそ き ほんかいぎ ひら
急いで決めるべきことがあるときなど、いつでも本会議を開くことができます。

◆ 編集後記 ◆

今号の議会だよりでも、新しい言葉や略語がいくつか出てきており、その簡単な解説も掲載しましたが、いかがでしょうか。

いわゆる行政用語については、できるだけ平易な表現にあらためて、理解がすすむよう工夫を重ねています。現代社会において日々生まれる、新しい言葉については、その意味合い、解釈も人々時々において変わることがあります。

一般質問における議員の真意を正確に伝えるよう、委員一同これからも勉強と努力を続けていきます。

(上村)

広報調査特別委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 上村康幸 |
| 副委員長 | 稲川洋 |
| 委員 | 勝山修輔 |
| 委員 | 山本辰夫 |
| 委員 | 稲見敏夫 |

